

和音

京都大原記念病院グループ

KYOTO OHARA HUMAN CARE NETWORK

No.249

2020年

6月

JUNE

「和音」編集室

京都大原記念病院グループ

〒601-1246

京都市左京区大原井出町

164番地

TEL (075) 744-3160

FAX (075) 744-3161

Mail kyotoohara-hp@kyotoohara-gr.jp

https://www.kyotoohara.or.jp

新型コロナ かからない・うつさないために

マスク・手洗い 「3密」の回避



職員や患者様ら人の移動によって感染が広がらないよう一時通行止めになった博寿苑の廊下

1月に国内1人目の感染者が報告されて以降、新型コロナウイルス感染症については連日各メディアで報じられています。営業や外出などの様々な自粛や、一人ひとりの行動変容の甲斐あって5月21日までに京都を含む42府県で緊急事態宣言が解除されました。しかし第2波を起ささないためにも、感染予防が求められる日々がなお続いています。そうした状況を踏まえ、予防のためになすべきことと、京都大原記念病院グループの対策についてご紹介します。

ます。マスクが無い状態でくしゃみや咳が出そうな時は、ハンカチや袖などで口を覆うなど咳エチケットを意識しましょう。手のひらで覆い、手を洗わずにドアノブなどに触れると、そこにウイルスが付着します。次に同じ場所に触れた人にうつる(接触感染)原因となりますので、意識して袖で

覆いましょう。マスクを外す時は、耳の紐から外すことも忘れてはならないポイントです。

皆さんは目に見えないものに対して不安を抱くのに対し、目に見えるものに安心することはないでしょうか。マスクを着用し
(4面に続く)

正しい手の洗い方

- ・爪は短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう

1. 流水で手を濡らしたあと石鹸をつけ、手のひらをよくこすります
2. 手の甲を伸ばすようにこすります
3. 指先・爪の間を念入りにこすります



4. 指の間を洗います



5. 親指と手のひらをねじり洗いします



6. 手首も忘れずに洗います



感染症対策に大切なことは「かからない」「うつさない」ことと、一人ひとりが意識して行動を変えていくことです。

基本的な行動としては「正しいマスクの着用」「咳エチケット」「こまめな手洗い」の三つが大切です。マスクを着用する目的は、飛沫が拡散して周囲の人にうつすこと(飛沫感染)を避けることにあり



京都大原記念病院の周囲には約700メートルの遊歩道があり、日々、患者様がセラピストとともに歩行練習に励まれます。春になると数百本ものソメイヨシノが咲きほこり、4月中旬には桜吹雪の中でリハビリをしておられました。

また京都大原記念病院の北西にある京都大原児玉山荘（通常非公開）は昭和初年の庄屋住居を移築した入母屋建築茅葺きです。その庭園では今年も4月中旬にシャクナゲが見事な花を咲かせました。

病院前の高野川堤防も桜の名所となっています。



リハビリに桜花の癒やし





古山荘を彩るシヤクナゲ



(1面から続く)

ているかどうかは、見た目どおりです。それだけで「自分は大丈夫」と気が緩んでしまうかもしれません。しかし、日常生活をしていけば、ドアノブ、蛇口など様々な他者との共有部分に触れます。その手はしっかりと洗えていますか。マスクを外して食事や水分補給する時の手は清潔でしょうか。自分がうつらないために「手洗い」は非常に重要なポイントです。できるだけこまめに、1回あたり約30秒間 意識して実践してみましょう(前ページの図)。それだけでリスクはグッと下がります。

加えて3密(密閉空間、密集空間、密接空間)を避けることが大切です。つまり換気の悪い密閉空間や人混み、近距離での会話を避けるということです。最も効果的なのは、自分以外の人との直の接点を減らすことです。人の生活は自分以外の人と接するなかで営まれるものであり、難しさもあります。しかし買い物をする際に「買うものをメモに書いてから出かける」「回数を2日に1回から、3日に1回に減らす」「すいている時間に出かける」など身近なことから工夫し、取り組むことに

京都大原記念病院グループの新型コロナウイルス対策

1. 1日3回以上の施設内換気、および館内アナウンスでの周知
2. シャトルバスの「換気(窓を開けて運行)」と「全座席1日2回の環境清拭ワイブ拭き上げ」
3. 取引業者との商品(医療・介護用品)授受は原則玄関口のみで実施
4. 館内動線の制限(通所利用者と入所利用者の隔離)
5. スマートフォンの「ビデオ通話」を用いたカンファレンスと面会実施
6. 主治医判断に基づく、通院回数の制限[※]
7. 京都府外からの通院を原則禁止(主治医判断による例外あり)[※]

※:リハビリテーション外来を実施する御所南リハビリテーションクリニックでの対応となります。

意味があります。

ここに紹介したような代表的な予防方法のベースは、一人ひとりが意識して行動を変えることと言えます。感染拡大予防のために何ができるのかを考え、生活や行動を見直し、変えること(行動変容)が大切です。そして、これらの予防策とともにしっかりと食事、睡眠をとり、できうる限りの運動をして体力を維持することも忘れてはいけません。



感染拡大の防止に向けて話し合う対策本部のメンバー

具体策を取ることができたのは、皆様のご理解があつてのものと考えています。

42府県で緊急事態宣言は解除されましたが、引き続き、最大限の注意を払って感染拡大予防に取り組んでまいります。

引き続き、ご理解・ご協力をいただきますようお願いいたします。今後のグループの各種対応状況などの最新情報は、ウェブサイトにてお知らせしてまいります。下のQRコードよりご覧ください。

※:一般的に新型コロナウイルス感染症に関する相談の基準としては、37.5℃以上とされてきました(5月8日に基準から削除されました)。当グループでは、職員の意識を高める意味も込めて、基準を自主的に厳格化して取り組んでいます。

職員が持ち込まない

京都大原記念病院グループ ウイルス予防徹底

グループでは2月に対策本部(危機管理委員会)を設置し、最新情報の収集と対策を進めてきました。関わる全ての人の安全の確保に努めなければなりません。まずは職員がウイルスを持ち込むことがないよう危機意識を徹底させることから着手しました。

出勤日の「体調確認(体温測定など)」を徹底するほか、公私ともに「不要不急の外出(出張含む)を禁止」としています。37.0℃以上[※]の発熱、のどの痛み、咳、鼻水、だるさなどの症状がある場合は、ただちに自宅待機としています。いまだマスクの物流は安定的とはいえない状況ではありますが、出勤する職員全員が着用して業務にあたっています。

グループ内の病院、および介護入所施設では2月25日(火)以降、やむを得ない場合を除き「面会禁止」「外出・外泊禁止」といたしました。実施に際してはさまざまなお声がありましたが、患者様・ご利用者の安全が最優先である旨、できる限りの説明を尽くしご理解をいただきながら進めています。また、その他にも、関係各位のご協力のもと、右上のような対策を実施しています。比較的早い段階から

京都大原記念病院グループウェブサイト
公式Facebookのご案内

グループの取り組みなど日々、更新中!
自然災害等により何らかの影響が生じた場合は
こちらで情報発信します。ぜひこちらをご覧ください!



ウェブサイト



Facebook